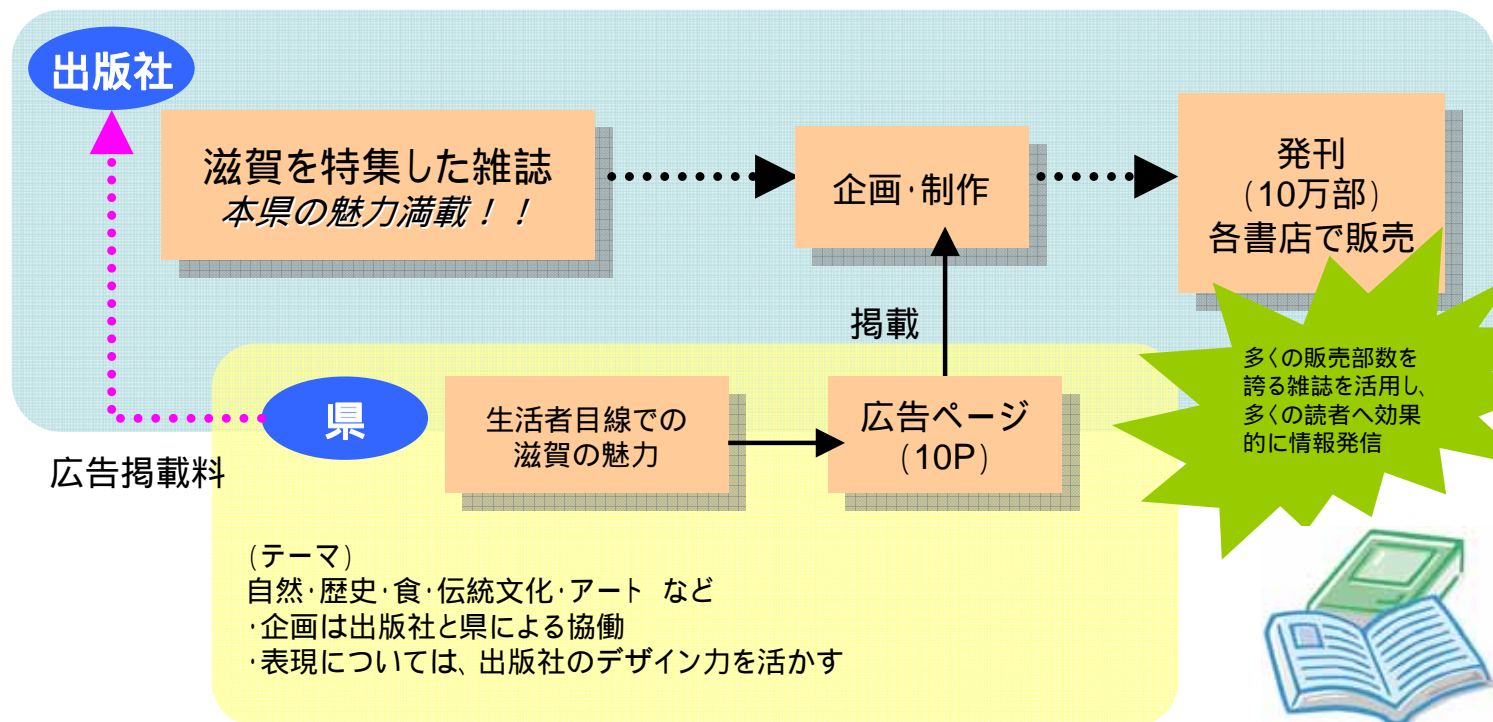


# 新 滋賀の魅力発信事業

【予算額 4,543千円】

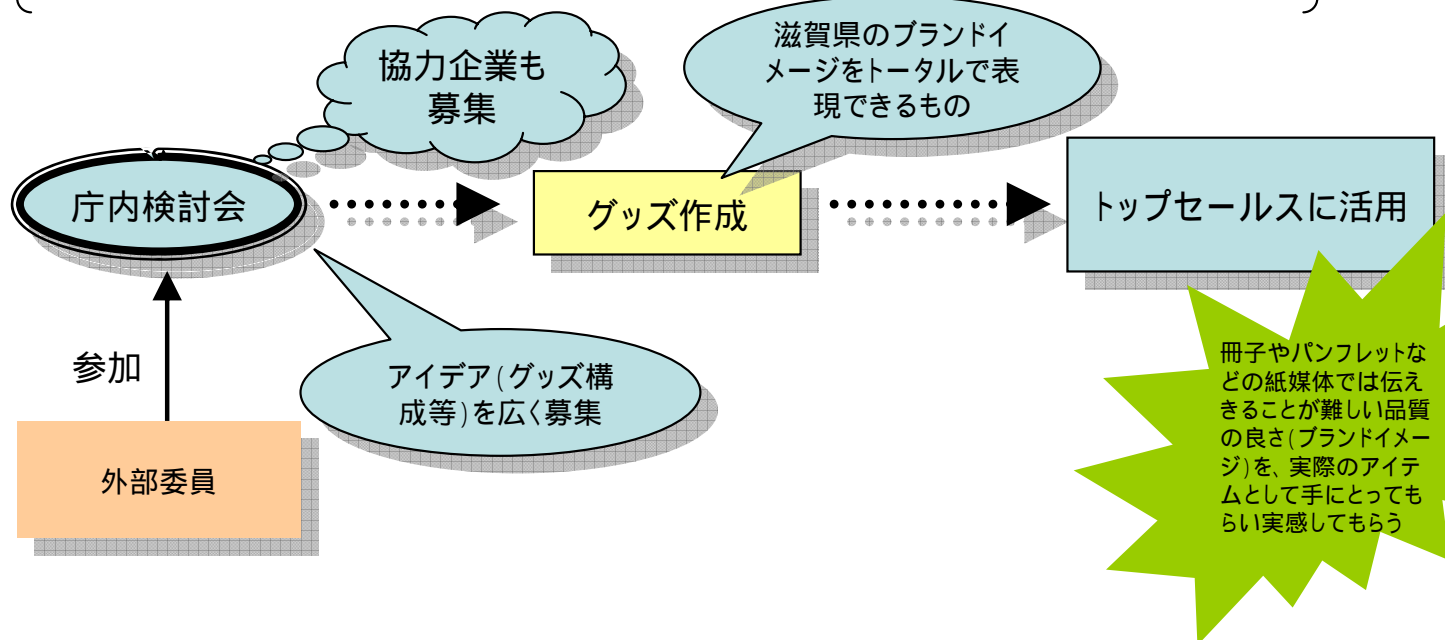
## 1. 滋賀の魅力雑誌広告掲載事業

県内および京阪神を主な発売エリアとする市販の雑誌に滋賀の魅力を紹介する広告を掲載



## 2. 滋賀の魅力宣伝ツール作成事業

県内外でのトップセールスを効果的に展開するためのPRグッズを作成



新

## 「滋賀の未来戦略」の推進

新しい滋賀県基本構想を策定します。（平成23年3月策定予定）

県民の皆さんの思いをのせた「滋賀の未来戦略」の具体化で、「住み心地日本一の滋賀」を目指します。

県民の皆さんとともに「住み心地日本一の滋賀」を実現していきます。

そのために

～「滋賀の未来戦略」推進事業～ 【予算額 3,948千円】

#### 未来戦略フォーラムの開催

「住み心地日本一の滋賀」について、みんなで考えるフォーラムを開催します。

#### 未来戦略サロンの運営

県民、行政が一緒になって、「住み心地日本一の滋賀」の実現に向けた政策の研究を行います。

#### 未来戦略プロジェクト「私の提案」

未来戦略プロジェクトの推進について、県民の皆さんからの工夫や提案を募集します。



### 【滋賀県基本構想「未来を拓く8つの扉」(平成23年3月策定予定)】

計画期間：平成23年度(2011年度)～平成26年度(2014年度)

特徴：県民、各種団体、企業、行政が共有する**未来ビジョン**として策定。

「人」、「自然」、「地と知」の力を活かして、「**経済成長**」と「**社会成長**」をともに果たす「滋賀の未来戦略」で、「住み心地日本一の滋賀」を目指す。

「滋賀の未来戦略」は8つの**未来戦略プロジェクト**で推進。

子育て・子育て応援プロジェクト 働く場への橋架けプロジェクト

地域を支える医療福祉・在宅看取りプロジェクト

低炭素社会実現プロジェクト 琵琶湖の再生プロジェクト

滋賀の未来成長産業プロジェクト 地域の魅力まるごと産業化プロジェクト

みんなで命とくらしを守る安全・安心プロジェクト

「社会成長」とは

人と人、人と自然のつながりを強めることで生活現場の課題を解決し、生活の質や社会の質を高める成長

資-直轄3	
企画調整課	内線3294
県民文化課	内線4631
障害者自立支援課	内線3542
文化財保護課	内線4671

新

# 「美の滋賀」の発信

「地と知の力」が生み出した「美の滋賀」を発信することにより、  
滋賀の魅力をより一層高め、県民の誇りを育てていきます

## アール・ブリュット(ART BRUT)

### (仮称)アール・ブリュット発信あり方 検討委員会の設置・運営

アール・ブリュット発信の拠点づくりに向けて、専門家等による委員会を設け検討を行います。また、県民への広報および意見を聴く場として、県民フォーラム等を開催します。

【4,295千円】(企画調整課)

### アール・ブリュットの魅力の発信

・PR冊子、子ども向け教材製作  
【2,450千円】(企画調整課)

### アール・ブリュット推進事業

・障害者によるアートの公募展、国内外の作品調査・支援、NO-MAでの展覧会等

【26,190千円】(障害者自立支援課)

## 近代美術等

### (仮称)近代美術館機能・発信力 向上検討委員会の設置・運営

平成26年に開館30周年を迎える近代美術館の機能や発信力の向上に向けて、専門家等による委員会を設け検討を行います。また、県民への広報および意見を聴く場として、ミニ集会を開催します。

【2,472千円】(県民文化課)

### 近代美術館展覧会開催事業

・五味太郎作品展、珠玉のヨーロッパ  
絵画展、近代の洋画展 ほか

### 近代美術館情報普及事業

## 仏教美術等

### (仮称)近江の仏教美術等発信 活用検討委員会の設置・運営

本県の優れた仏教美術等の魅力の発信および活用の方策と、あわせて琵琶湖文化館の機能を継承する施設の確保に向けて、専門家等による委員会を設け検討を行います。

【3,572千円】(文化財保護課)

### 近江の仏教美術等魅力発信・ 再生支援事業

### 近代美術館「近江の仏像」展 とキャンペーン事業

### 近江路・仏女プロガー旅紀行 事業

## (仮称)「美の滋賀」発信懇話会の設置

県民および専門家等による懇話会を設置し、地域資源を活用した「美の滋賀」の発信について時代の潮流を踏まえ、新たな発展の可能性を見出し提言をまとめます。

検討事項 (a)本県の現状や課題などを踏まえた新たな美の発信の可能性  
(b)新たな「美の滋賀」発信にあたっての課題と取組の方向性

【1,383千円】(企画調整課)

### 【ART BRUTとは・・・】

伝統や流行、教育などに左右されず、自身の内側から湧きあがる衝動のままに表現した芸術。  
フランス語で「生(き、なま)の芸術」の意。

# 新 危機管理センター基本計画の策定 【予算額 9,283千円】

資一直轄4  
防災危機管理局  
内線3432

事業概要

県民の身体、生命、財産を守るため、様々な危機事案に迅速・的確に対応できる災害対策等の拠点となる危機管理センターについて検討し、基本計画を策定する。

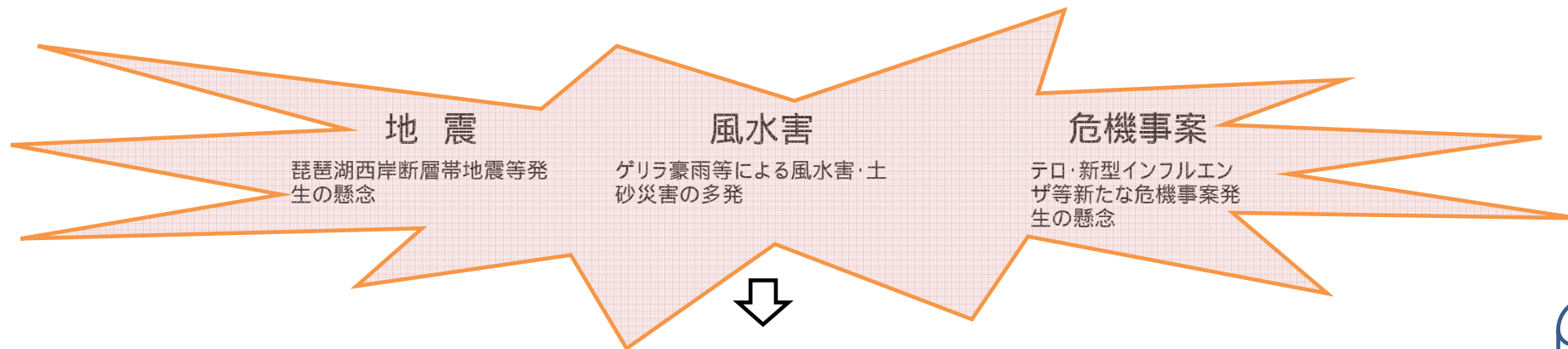
課題

・地震や風水害等の自然災害をはじめテロや新型インフルエンザ等の新たな危機事案にも迅速・的確に対応できる県の危機管理機能の充実が必要である。

・災害対策本部会議室等の災害対策拠点は、十分な耐震強度を満たす必要がある。

・防災行政無線が老朽化し更新時期を迎えており、時代に則したシステムへの移行が必要である。

危機事案に対する拠点施設として、現在の機能は十分とは言えない状況にある。



## 危機管理センター機能の検討 【検討委員会を中心に検討】

### 災害対策本部機能

危機事案発生時に、関係者が集まり、考え、対応する拠点機能

危機事案発生時に県や市町、警察、消防、自衛隊等関係機関が連携して危機事案に迅速・的確に対応する。

災害対策本部員室、災害対策活動室、関係者控室等

### 防災情報収集伝達機能

新しい情報技術を取り入れ、災害情報等を迅速に入手し、発信する機能

危機事案発生時に市町や関係機関、住民等から情報を迅速に把握し、共有・発信する。

防災行政無線、防災情報システム(GPSの活用等)

### 研修・交流機能

自主防災組織などみんなが集まり、防災のまちづくりを考え、交流できる機能

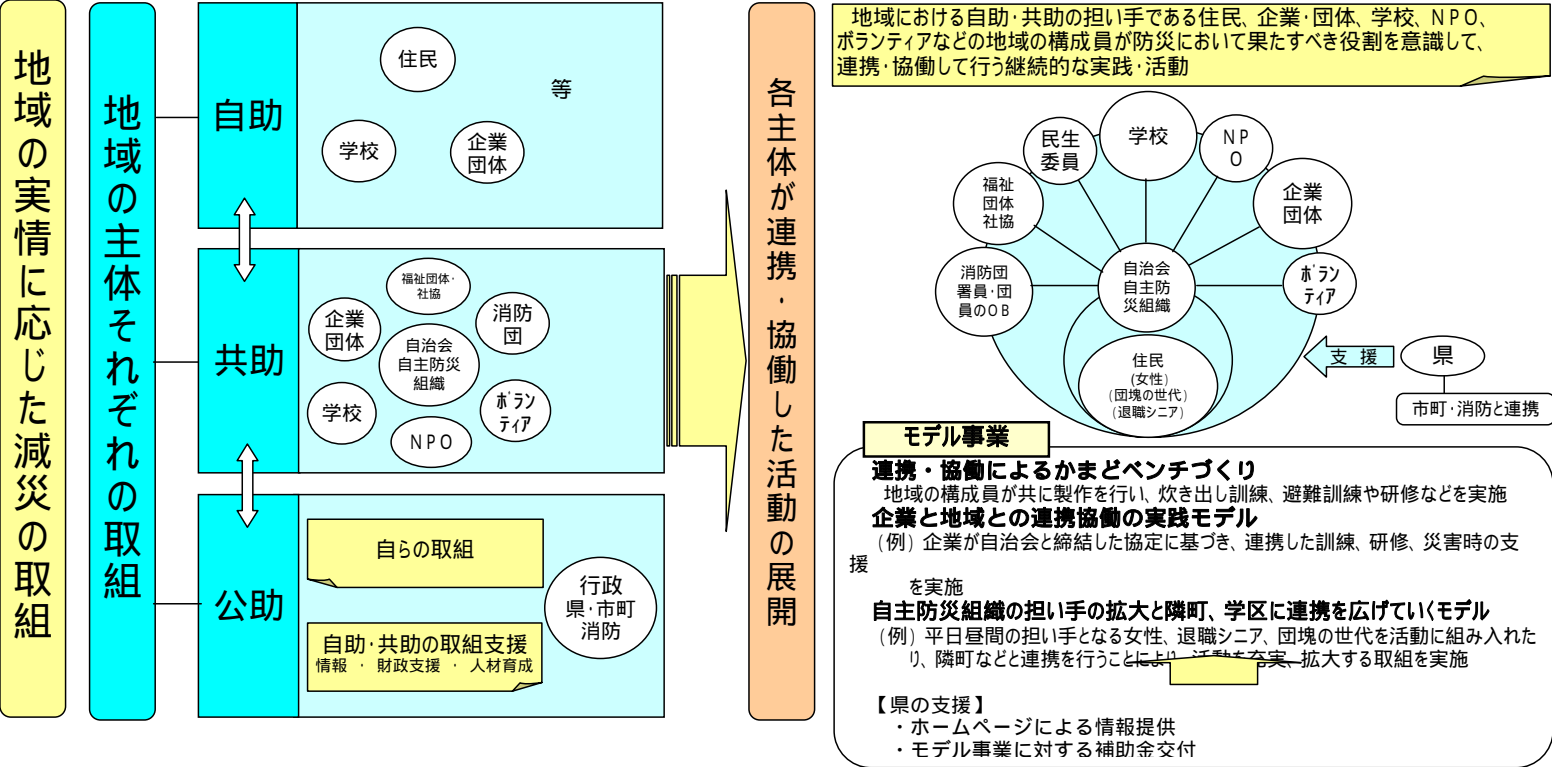
自助、共助による災害に強いまちづくりを進めるため、日頃から自主防災組織等県民が参加して研修や交流を行い、地域防災力の向上を図る。

展示室、体験施設、交流施設、研修施設

# 減災協働コミュニティ滋賀モデル推進事業 【予算額2,206千円】

資 - 直轄5  
防災危機管理局  
内線 3432

## さまざまな主体の協働による地域の減災力の強化



## 地域減災力の強化

# 新 地域で育む防災・防犯活動支援事業

【予算額 3,392 千円】

## 1 事業目的

子どもが防災・防犯の知識や技能を習得し、主体的に考え行動できるよう、学習・体験活動を推進するとともに、若者や女性、企業等の消防団活動への理解や参加促進を図ることで、地域防災力を高めるための取組みを支援する。

## 2 事業の概要

**(1) 防災・防犯育成モデル事業**  
 学習・体験活動の取組方策について調査研究を行うため、検討会を設置しモデル校で事業を検証しながら、活動マニュアルを作成し普及を図る。  
 検討会構成員：学識経験者、学校関係者、消防防災関係者等  
 検討内容：小学校5年生～6年生を対象にした活動モデルマニュアル作成

**(2) 消防団活動一日体験入校**  
 若者、女性、企業などへの働きかけとして消防学校一日体験入校を実施し、消防団活動への理解を深め入団の契機とする。  
 募集人員：100名程度

## 3 イメージ図

